

国語科「現代文B」授業実践紹介

授業者：福田 浩司

学 年：2年

単元名：なぜ人は人を信じることができるのか～『ナイン』（井上ひさし）

単元のねらい（7つのチカラ：①自分を理解する力、③考える力、⑤コミュニケーション力）

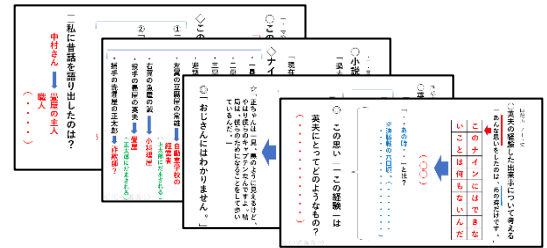
- ① 「人を信じる」というテーマに対して、自己と他者（筆者含む）との対話を通し、考えを深めることができる。
- ② 「①」を踏まえ、他者の思いを主体的、客観的に想像し、表現することができる。

単元の流れとパフォーマンス課題（パフォーマンス課題は④）

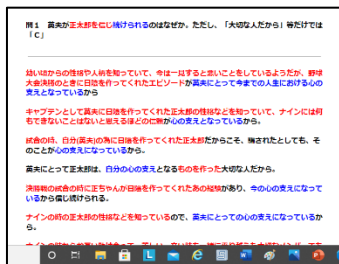
- ① 単元でのテーマ、重要語句の確認、要約の確認を行っていきます。（1時間）



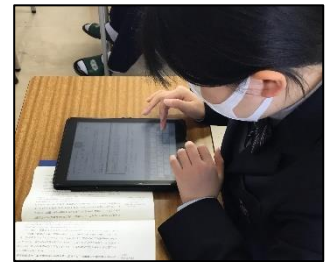
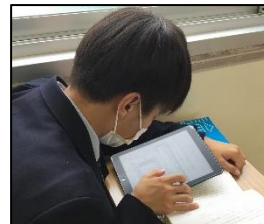
- ② パワーポイントで内容を整理し、主体的にプリントにまとめていきます。（4時間）



- ③ 「②」の取組と同時に、生徒個々の意見をグーグル・クラスルームに入力し、意見の共有を図ります。



- ④ グーグル・クラスルームに配信された、各自のパフォーマンスシートに個々の意見を入力し、転送します。（1時間）



パフォーマンス課題とその評価

1. 「だから・・・。」のように、英夫が言葉を継げず、言い切れなかったのはなぜか。
2. 「この十何年かのうちに、ここには西日がささなくなってしまうようである。」より、「私」はここで何を感じているのか。

①本文を踏まえ、それぞれ「・・・と考える。なぜなら～～～からだ。」の形で答えること。

| | A | B | C |
|------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|------------|
| Ⅲ・書く、Ⅳ・読む （より具立的な表記にしている） | 「意見+理由」のつながりがあり、形に従って答えられ100字以上である。 | 形にしたがって答えられていない上に、理由も明確でない。（100以上） | 100字未満である。 |

単元を通して身につけてほしいこと

他の生徒との対話（グーグル・クラスルームなど）を通し、自分の考えをさらに深め、また、教科書の本文『ナイン』から作者は何を描き出そうとしたのかを言語化することにより、教科書の読みを深めてほしいと考えています。そして、この単元での学習を通して、一つのテーマに対して、様々な視点から考えることができるようになってほしいと考えています。

単元評価（ルーブリック）

【単元ルーブリック】*単元の終わりに、以下の各観点（Ⅰ～Ⅴ）の評価尺度（2～0）の項目の該当箇所に○を付けよ。

| 観点 | 2 | 1 | 0 |
|---------------|------------------------------|------------------------|--------------------------|
| Ⅰ 関心 意欲・態度 | 他者の考えを注意深く聴くことができる。 | 他者の考えにも耳を傾けることができる。 | 他者の考えに耳を傾けることができない。 |
| Ⅱ 聞く 話す | 話の内容や相手の反応を意識して、聴けたり、伝えられる。 | 話を聴いて、自分の考えを相手に伝えられる。 | 話を聴かず、自分の考えも相手に伝えられない。 |
| Ⅲ 書く | 本文を踏まえ、文章構成、根拠を意識して書ける。 | 自分の考えを書ける。 | 自分の考えを書けない。 |
| Ⅳ 読む | 本文の内容を把握し、自分のこととして考えられる。 | 本文の内容を読み取れる。 | 本文の内容を読み取れない。 |
| Ⅴ 知識 理解 | 得た知識を日常生活で積極的に生かせ、よりよく生きられる。 | 得た知識を日常生活で生かすことができている。 | 得た知識を日常生活で少しずつ生かそうとしている。 |

以下の基準で、学期の評点とした。

- ①パフォーマンス課題に対する評価（30%）
- ②一枚ポートフォリオ等による評価（20%）
- ③定期考査による評価（50%）